

# 王土会会報

第 26号  
17. 4. 1



## ◎「」挨拶

王土会会長

新井光雄

全国の王土会会員の皆様明けましておめでとうございませす。皆様にはご家族お揃いでご機嫌うるわしく、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の王土会は例年通りの事業(年一回の総会、年二回の会報)を順調に運営しました。王土会主催のゴルフコンペについては実施の方向で検討しましたが、実現に至らず引き続き検討させて頂きませす。

会員獲得については、今後とも、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、イラクではフセイン政権崩壊から十四ヶ月にわたってイラクを統治した連合国暫定当局からイラク暫定政権に主権委譲がおこなわれましたが(六月)、依然として武装テロ組織による活動が活発で十一月には武装テロ勢力に拘束されていた香田証生さんの殺害が確認されました。極めて残念な結果であります。この事件で

改めて明確になったのは国際社会の「テロとの戦い」が今後も続き、日本もその戦列に連なっているという現実であります。

北朝鮮の核問題を巡る六ヶ国協議も第二回(二月)、第三回(六月)、と開かれましたが、実質的な進展は無く、次回協議開催の見通しも立っていない状況であります。また、北朝鮮が十一月の第三回日朝実務者協議の際に横田めぐみさんの「遺骨」として提供した骨について鑑定の結果、別人のものであることが判り、政府は北朝鮮に嚴重抗議をおこないました。

十一月投票の米大統領選では、現職のブッシュ大統領が民主党のケリー上院議員と大接戦の末、再選を決めました。

国内に目を転じますとイラク人道復興支援、相次ぐ台風災害、新潟県中越地震等厳しい一年でありました。イラク復興支援は陸上自衛隊が、国連平和維持活動(PKO)以外で外国の領土で活動するのは初めてであり、自衛隊の役割に新たな歴史を切り開くとともに、日本の将来の国際平和協力のあり方を示すものと成りましよう。

## 総会ご案内

王土会会長

新井光雄

陽春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第四十三回「王土会」定期総会を左記により開催したいと存じますので、ご多用中誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご出席頂きたくご案内申し上げます。

### 記

日時 平成十七年五月十三日(金)

総会 一六時三〇分～一七時

講演会 一七時～一八時

(講師 荒木肇氏)

懇親会 一八時～二十時

(受付開始は十六時から致します)

場所 グランドヒル市ヶ谷

電話〇三(三二六八)〇一一一

会費 八,〇〇〇円

但し、名誉会員の方は五,〇〇〇円

その他 ・年会費は同封の払込取扱票にてお願ひします。

・準備の都合上、出欠につきましては、四月二十二日(金)までに同封の葉書でご返信下さい。

八月には例年より強く張り出した太平洋高気圧の影響で、全国で記録的な猛暑となりました。東京では、過去最長の四〇日連続で真夏日を記録し、年間の真夏日も七十日となり、気象庁が観測を始めて以降の最多日数となりました。また、十月には「超大型」の台風二十三号が高知県に上陸し、日本列島を縦断しました。昨年上陸した台風は、観測史上最多の十個で、多数の死者・行方不明者が出るなど大きな被害をもたらしました。

また、同じ十月に新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生し、川口町では震度7を観測しました。長岡市を走行中の上越新幹線が脱線し、その後も震度4以上の余震が断続的に起き、避難生活者は一時、十万人を超えました。

スポーツ面では明るい話題が多く、八月の夏季五輪アテネ大会では、日本選手が柔道、水泳、陸上等で大活躍し、日本は金16、銀9、銅12の計37個と史上最多のメダルを獲得しました。また、十月には米大リーグ、シアトル・マリナーズのイチロー選手が、一日のレンジャーズ戦で、三安打を放ってシーズン通算二五九安打とし、ジョージ・シスラー選手が打ち立てた最多安打記録(二五七本)を八四年振りに更新しました。その後最終戦までに、記録を二六二に伸ばしました。

政治面では、七月の参院選で自民党が伸び悩み、民主党が大きく議席を伸ばして、一昨年の秋の衆院選に続き二大政党化の流れが続いていることを示し

ています。また、防衛関係候補者が敗北し、防衛の専門家を国会へ送り込めなかったのは問題であり、残念な結果でありました。

十二月にはイラクへの自衛隊派遣延長や今後十年間の日本の防衛力のあり方を定めた新防衛計画の大綱が閣議決定されました。新「防衛計画の大綱」は、他国による本土進攻への対処を重視する「基盤的防衛力構想」を見直し、「多機能で弾力的な実効性のある防衛力」を整備する方針に「質的な転換」をはかったのが最大の特徴であります。また、国際平和協力活動を自衛隊の本来任務とする方針も示されました。陸上自衛隊の編成定数を十五万五千人とするなど自衛隊の人員や、戦車、護衛艦、戦闘機等従来型装備を削減しました。また、同時に次期中期防衛力整備計画も決定され、総額二十四兆三千四百億円で中期防予算が一九八六年に始まって以来、初めてのマイナスとなりました。一方、ミサイル防衛(MD)システムには約五千億円が確保されました。

本年は日露戦争勝利百周年、また昭和二〇年の終戦から数えて六〇年で再生日本として還暦にあたりますが、日本の安全保障戦略の新たな展開の中で、新年を迎えることとなりました。外交面ではイラク、北朝鮮、国内では小泉内閣にとって重大な年で郵政改革法案、憲法改正のための国民投票法案、教育基本法案等難問が山積しており、内外ともに多難な年となりますが、皆様にとつて実り多い年に

なることをお祈り致します。

平成十六年度の陸上自衛隊の改編のうち、武器科関係は次のとおりであります。

＊第八後方支援連隊の改編(機能別編成)

武器大隊を廃止し、二二整備大隊を新編最後になりますが、本年の王土会総会は本誌別欄にご案内のとおり五月十三日(金)に実施されます。総会には多くの会員の皆様方のご来場を頂き盛大に実施したいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

席上でお会いして親しく歓談できますことを楽しみにお待ちしております。

## ◎ 講演会について

今年も五月十三日の総会時に、王土会の講演会を計画致しました。講師には自衛隊のOBではありませんが、自衛隊に関する著書も多く、自衛隊に対し大変造詣が深い、荒木肇氏にお願いしました。会員皆様の多数の出席をお待ちしております。

(荒木肇氏の略歴)

一九五一年東京生まれ。横浜国立大学教育学部教育学科卒業。同大学院修士課程(学校教育学専修)終了。

横浜市主任児童委員、生涯学習研究センター常任理事、聖ヶ丘教育福祉専門学校講師(教育原

理)。九九年より川崎市立京町小学校教諭、現在は同市久末小学校教諭。

著書に『静かに語れ歴史教育』（出窓社）、『自衛隊という学校』『続自衛隊という学校』『子供に嫌われる先生』（並木書房）などがある。

## ◎ インターネット

今回は昨年十二月閣議決定された、新たな防衛計画の大綱、新中期防衛力整備計画及びびイラク情勢について、新聞等に掲載された内容を要約し、記載致しました。

### ◇ 新防衛大綱の要約

新大綱では、各自衛隊の主要装備は現大綱よりいずれも削減されている。特に戦車は、現大綱の約九百両から約六百両へと三分の二に大幅に圧縮されている。火炮も同様に約九百門・両から約六百門・両に削減された。護衛艦は約五十隻から四十七隻へと微減にとどまったが、戦闘機は約三百機から約二百六十機まで削減された。こうした主要装備の削減は、限られた防衛予算の中、総額一兆円以上に上がると見られるミサイル防衛(MD)システムの導入などが優先されたためである。

新たな自衛隊の体制は、弾道ミサイル、テロ、ゲリラなど「新たな脅威」のほか、国際協力任務や災害

派遣などにも柔軟に対応することを目指している。

テロやゲリラへの対応では、陸自の戦車や火炮などの重装備を削減する代わりに、普通科部隊の強化を打ち出している。また、部隊の機動力を強化するため、将来的に軽装甲機動車約二千両(現在の五倍)、多用途ヘリコプター約百九十機(同一割増)を全国の部隊に配備する方針にしている。

国際協力任務では、陸自が新設する中央即応集団に、国際活動教育隊を設置する。約百人規模で、通常は他の部隊の国際の任務の教育に当たるが、派遣任務が発生した場合が第一陣の中核として現地に投入される。空自が導入する新型輸送機(二四機)と、輸送機としての役割も果たす空中

防衛大綱別表の新旧比較

		旧大綱(1976年)	前大綱(1995年)	新大綱(2004年)
陸上自衛隊	編成定数	18万人	16万人	15万5千人
	常備自衛官定員		14万5千人	14万8千人
	即応予備自衛官定員		1万5千人	7千人
	平時地域に配備する部隊	12 個師団 2 個混成団	8個師団 6 個旅団	8個師団 6 個旅団
	機動運用部隊	1 個機甲師団 1 個空挺団 1個ヘリコプター団	1 個機甲師団 1 個空挺団 1個ヘリコプター団	1 個機甲師団 中央即応集団
	地对空誘導弾部隊	8 個高射特科群	8 個高射特科群	8 個高射特科群
	戦車	約 1,200 両	約 900 両	約 600 両
主要特科装備	約 1,000 門/両	約 900 門/両	約 600 門/両	
海上自衛隊	護衛艦	約 60 隻	約 50 隻	47 隻
	潜水艦部隊(潜水艦)	6個隊(16 隻)	6個隊(16 隻)	4 個隊(16 隻)
	作戦用航空機	約 220 機	約 170 機	約 150 機
航空自衛隊	空中給油・輸送部隊			1個飛行隊
	作戦用航空機	約 430 機	約 400 機	約 350 機
	うち戦闘機	約 350 機	約 300 機	約 260 機
ミサイル防衛 関連の主要装 備・基幹部隊	イーグス艦			4 隻
	航空警戒管制部隊			7 個警戒群
	地对空誘導弾部隊			4 個警戒隊 3 個高射群

## 陸上自衛隊が目指す新体制

■ 将来の師団(旅団)の体制例

	戦車	火炮	多用途ヘリ	軽装甲機動車
沿岸配備師団	98両	60門	5機	0両
↓				
総合近代化師団	41両	45門	5機	60両
戦略機動師団	58両	60門	4機	0両
↓				
即応近代化師団	28両	30門	5機	140両
政経中枢師団	30両	20門	4機	0両
↓				
即応近代化師団(政経中枢タイプ)	28両	20門	5機	140両

※第11師団、第1、第2混成団は旅団化を予定



給油機(四機)が海外派遣を迅速に行うための「足」になる。現有の輸送機C1は航続距離千七百キロ、C130は四千キロだが、空中給油機は七千四百キロ、新型輸送機は六千五百キロの航続距離を持つ。国際協力任務などでの自衛隊の海外展開能力が飛躍的に高まることになる。

### ◇ 新中期防衛力整備計画の要旨

(2005~2009年度)

#### 【組織の見直し】

一、陸上自衛隊は、戦車及び主要特科装備の縮減をはかりつつ即応性、機動性を向上させるため5個師団、1個旅団及び2個混成団を改編し、うち1個

師団、2個混成団は旅団に改編する。機動運用部隊や専門部隊を一元的に管理・運用する中央即応集団を新編する。

一、海上自衛隊は、護衛艦部隊(機動運用)を1護衛隊4隻、8個護衛隊に集約化する。護衛艦部隊(地域配備)のうち1個護衛隊を廃止する。潜水艦部隊を5個潜水隊、固定翼哨戒機部隊を4個航空隊、回転翼哨戒機部隊を5個航空隊に集約化する。

一、航空自衛隊は、警戒航空隊を2個飛行隊に改編を行う。空中給油・輸送部隊を新設する。

#### 【自衛隊の能力等に関する主要事業】

一、弾道ミサイル攻撃へ対応する機能を付加するため、イージス艦、パトリオットの能力向上を行う。新たな警戒管制レーダーの整備に着手する。

一、ゲリラや特殊部隊による攻撃等に対処し得るよう、普通科部隊の強化を行う。軽装甲機動車、多用途ヘリ、戦闘ヘリを整備する。核・生物兵器・化学兵器による攻撃への対処能力の向上をはかる。

一、島しょ部に対する侵略に対処し得るよう、輸送ヘリ、空中給油・輸送機、F2戦闘機を整備する。C1輸送機の後継機を整備する。

一、武装工作船、領海内で潜航する外国潜水艦に対処するため、P3C哨戒機の後継機を整備する。

一、国際平和協力活動に係る教育、研究等を行う部隊を新編する。ローテーションによる待機態勢の大幅な拡充を図る。

一、P3C、C1輸送機の後継機、現有戦車の後継戦車の開発を推進する。

中期防別表の新旧比較

	種 類	新中期(2005-09年度)	前中期(2001-05年度)
陸自	戦車	49両	91両
	火砲(迫撃砲を除く)	38両	47両
	多連装ロケットシステム	—	18両
	装甲車	104両	129両
海自	イージス艦システム搭載護衛艦の能力向上	3隻	—
	護衛艦	5隻	5隻
	潜水艦	4隻	5隻
	自衛艦建造計トン数	約5.9万トン	約8.6万トン
	新固定翼哨戒機	4機	—
空自	地对空誘導弾パトリオットの能力向上	2個群および教育所用等	—
	戦闘機(F2)	22機	47機
	新戦闘機	7機	—
	新輸送機	8機	—
	空中給油・輸送機能を持つ航空機	1機	4機

ができる。

◇イラク情勢について

アメリカの元国務長官キッシンジャー博士は日高義樹氏との新年の対談で、イラク情勢が混乱している理由について「イラク陸軍は降伏しないで消えてしまいい、武器庫・弾薬庫から武器等を持ち出しゲリラ活動をしている。米軍はイラクの残存兵力を把握していたが、樂觀しすぎていた。また、隣国のイランはイラクが安定することを望んでいない」と述べている。また、今年のイラク情勢については「テロ攻撃は※選挙前には活発になるが、全般的には少しずつ少なくなる。しかしながら解決はしない」と予測しております。

(※イラクの選挙等の予定：一月末の自由選挙で、国民議会が誕生。八月末までに憲法草案をつくり、十月に国民投票にかける。十二月には新憲法のもとで総選挙を行い、本格政権が発足する)

【所用経費】  
一、計画実施に必要な総額の限度は二〇〇四年度価格で24兆400億円程度をめどとする。1000億円を限度として事業の実施について措置すること

イラク情勢は、予断を許さない状況が続くことを覚悟しなければなりません。自衛隊のイラク派遣が一年間延長され、多くの自衛官がイラクの復興支援に尽力しております。イラクが速やかに復興され、

政情が安定し、一人の犠牲者も出さなく無事任務を完遂し帰還されることを祈るばかりです。

イラク国内にはイスラム教スンニ派(人口の約二割)、多数派のイスラム教シーア派、北部のクルド人勢力の対立があり、イラク国内混乱の一因となっております。またイラクは部族社会と云われています。我々には馴染みの薄い「部族」ですが、雑誌「選択」に「イラクを知る鍵」部族」とはなにか」という記事が載っておりますので、参考のため別冊として掲載しました。

◎ 会員の近況

山形県山形市 荒川 克栄  
幸子(妻)

王土会会報をお送り頂き有難うございます。

このところ夫・克栄の体調がすぐれず自宅療養しておりましたが、なかなか快方に向かわず十月二日入院しました。現在は、検査の明けくれで大変ですが、何とかよくなつてほしいと念じております。この頃では握力も落ち、ペンを持つのも苦痛のようですので、私が代筆しましたことをお許し下さい。

どうぞ皆様もお健やかに過されますようお祈り致しております。(平成十六年十月十五日)

茨城県土浦市 近藤 昭夫

還暦を過ぎ、中老から古老の年頃となりました。筆不精がすっかり身につについて近況をうまくお伝えできませんが、体が動けるうちに、狭い日本ではあります。美しい景色など少しでも多くこの目で見たいと思つてシャツターチャンス求めてカメラを片手にあつちこち歩き回つております。

皆様のご健勝と会のご発展をお祈りしております。

千葉県市原市 櫻木 繁

自衛隊を離れて早十数年。この間高校教師の傍ら、春休みを利用して、主に近畿地方を中心に仏像彫刻を觀てまわることを唯一の楽しみに過してまいりました。

このところ何故か十一面觀音と如意輪觀音に魅せられて、相変わらず古寺巡礼の旅を続けています。歳をとつた証拠でしょうか……。

東京都西東京市 中垣 利男

王土会会報をお送りいただき有難うございました。立川の中整備の時から退官した東方武器課の間、お世話になった青野さん、古田陸彦さん、松尾昭さん等のお名前が拝見され、昔を懐かしく思い出しております。皆様、今後ともお元気にすごされることをお祈りいたします。

私は現在、C型肝炎で週三回注射の為病院に通つておりますが、コーラスの会、カラオケの会に入つて

日々楽しくすごしております。八一才と十カ月になりましたが、まだ車の運転もしており、元気です。  
(平成十六年十月二十一日)

東京都葛飾区 廻間 芳雄

何時も総会の出席のみにて失礼いたしております。七〇才まで会社に勤務した後、一年間休みましたが、その後所属する同期生会の事務局の仕事のお世話を八年間やりました。今のところ平成十六年末をもつて一応職務を辞することが可能になったようです。これからは長年苦勞をかけた家族に少しでも奉仕しようかと思つております。皆様との連絡もできただけ心掛けて参る心算ですので、よろしく願ひいたします。皆様のご健勝をお祈りいたします。  
(平成十六年十月十一日)

福岡県福岡市博多区 長谷川 国美

武器隊(武器大隊等)、オーデナンスの名称が今次の改編で消えたのは寂寥の感ひとしおです。八十才の古参OBとして、目達原、福岡と「サヨナラ」及び「改編完結」のパーティに顔を出し、緑の隊旗のもと高良台、日出生台を馳り回つたのが昨日のように思い出されます。

## ◎ 会員の声

千葉市稲毛区 田中 和正

「雑感」

① 災害ニュースについて

中越地震の被災者の皆さんには大変なショックを受け不安な毎日を送っていると思います。早い回復を心から祈らずには居られません。それにしてもTVのニュースを見ていて、死者が何人、倒壊家屋が何棟、避難者の人数が何人等々、被害の大きさを訴えることに終始している様に思いました。皆さんはどの様にお感じになられたでしょうか。その様な事もある程度は良いですが、何回も何回も繰り返すことは無いと思うのです。それよりも優先すべきは救援です。救援活動に不可欠な交通統制の細部情報を一元的に放映する事が必要ではないでしょうか。例えば「小千谷町に入るには国道〇号線から県道〇号線を通って下さい」「途中〇〇にある交通統制所に指示を受けて下さい。但し通行許可している車両は〇日までは自衛隊の災害派遣車両及び新潟県知事の認めた車両に限ります等々」いずれにしても台風や地震による災害情報には被害の状況ばかりを繰り返しているのではなくて、きめ細かく救援者や被害者にとつて必要な情報は何かを把握し、放映する責任が有るのでは無いでしょうか。

② 被災者の避難について

今回の中越地震で大きな被害を受けた地域は長

岡市や小千谷市とその周囲町村に限られ幸いにも隣県には及ばなかった。被災者達は近くの学校等に避難し、地震がおさまるのを待っている状況が伝えられた。TVでは食べ物や水に不足し、そして余震の怖さに怯え寒さに耐えつつ夜を明かして居る様子が繰り返し延々と放映されていた。痛ましい限りである。そこで私は家畜等を飼っていたり何らかの事情でどうしても離れられない人たちを除いて、希望者全員を隣県の山形、宮城、群馬に在る多くの温泉旅館にライフラインが復旧するまで避難宿泊させたらと思うのです。もちろんその経費は一切国が負担する。中国やロシアへのODA経費をちよつと削ればお釣りが来ることでしよう。そうすることで被災者の皆さんの余震への不安や寒さ等から解放され健康の維持も図られ、被災地のガスや水道、道路、電気等々のライフラインの復旧に専心させて整齊と工事が進められ、工事期間の短縮も可能となりましょう。その間、無人となる地域の防犯は当然専門の警察の担当となるでしょう。ただ実行するにはさらに細かい点を詰めなければならぬと思いますが、不幸にもこのような災害を受けた皆様には当然の対応だと思

うのですが……

### ★ 計 報

「心からお悔やみ申し上げます」

関口 寿恵吉(北処)

〔平成十六年・五・六〕

原田 行義(三一一武)

〔平成十六年・五・十七〕

内藤 益一郎(高射校) 〔平成十六・十・二五〕  
野呂瀬 二三雄(十条) 〔平成十六・十一・十八〕  
長山 州宏(武校) 〔平成十七・二・八〕  
(平成十六年十月以降、王土会理事で把握した範圍の物故者のご氏名を掲載しております。)

### ◎ 王土会の役員

会長	新井 光雄	川越市菅原町七・四五・三〇七
代表理事	久光 禧敬	龍ヶ崎市根台一・一〇・三
常任理事	松尾 昭	川口市朝日一・二五・二二
々	馬渡 義明	川崎市麻布区向原一・五・六
々	澤田 和明	岩槻市東岩槻四・一・一六・七二・〇七
々	田中 敏勝	土浦市右羽三区二四五〇・六七
々	俣田 登志男	西東京市緑町三・五・二八
々	大屋敷 博	四街道市千代田五・五〇・二一
々	大工園 洋海	稲敷郡阿見町鈴木二七・六七
々	竹森 征男	東松山市五領町九・三〇・四・四〇四
々	須藤 八束	山武郡成東町湯坂三五・一一
々	菅内 透	牛久市中央四・二二・一五
会計監事	柚本 計悟	川越市松江町二・一一・一一・二〇八

(お願い)——会員の方の住所変更、ご逝去等の人事異動、意見等がありました場合には、王土会役員へ連絡をお願い致します。

### ◎ 王土会のホームページ

王土会もホームページを開設して約一年になりました。会員の皆様にもインターネット等で楽しんでおられる方も多いかと存じます。会員相互の情報交換、会報への投稿等に活用して頂きますようお願い致します。アドレスは—

「<http://members.jcom.home.ne.jp/oudokai/>」です。

#### □ 編集後記

▽会員の近況・意見等を会報編集者あて、どしどし送付して頂き、会員相互の情報交換の場として、会報を活用して頂ければ幸甚です。

(Eメールアドレス

:toshiokasada@yahoo.co.jp)

▽会員の声・近況につきましては、葉書等を平成十六年十月〜十二月頃頂きましたので、内容に時候等の不整合がありますが、そのまま掲載しております。



# 最近の装備品の紹介⑬

## 03式中距離地対空誘導弾

- ・装備化:平成17年度(教育所用)
- ・製造会社:三菱電機
- ・主要緒元等

機動性	高機動車両による自走式
全周対処性	あり
低空目標対処性	あり
ミサイル発射方式	垂直発射方式
ASM・CM 対処性	あり

F B: 戦闘機、爆撃機  
 ASM: 地上攻撃用ミサイル  
 ECM: 電子対抗手段  
 C M: 巡航ミサイル

